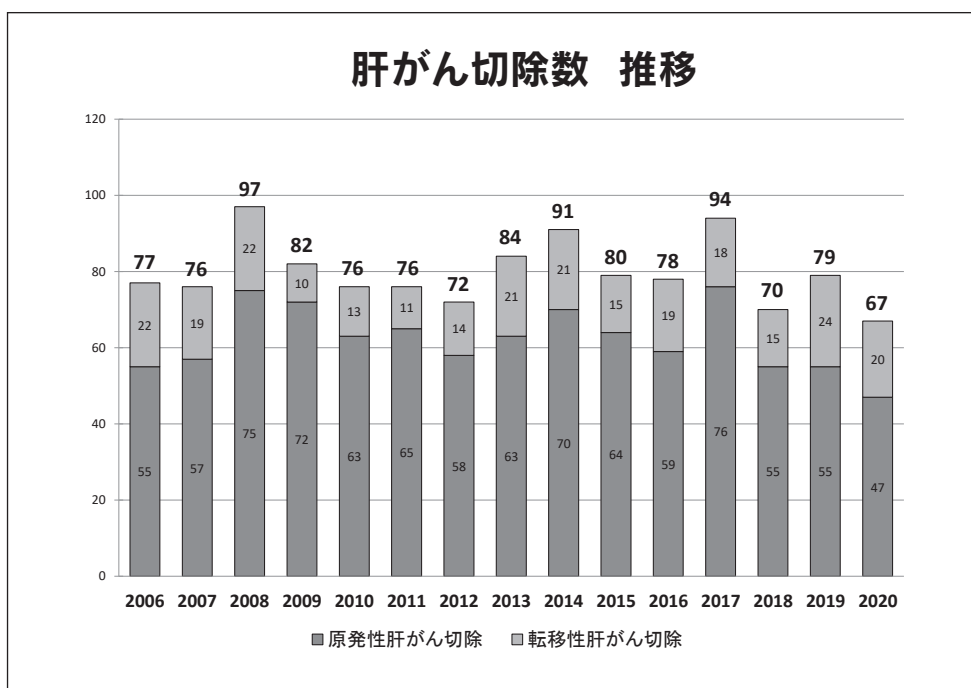
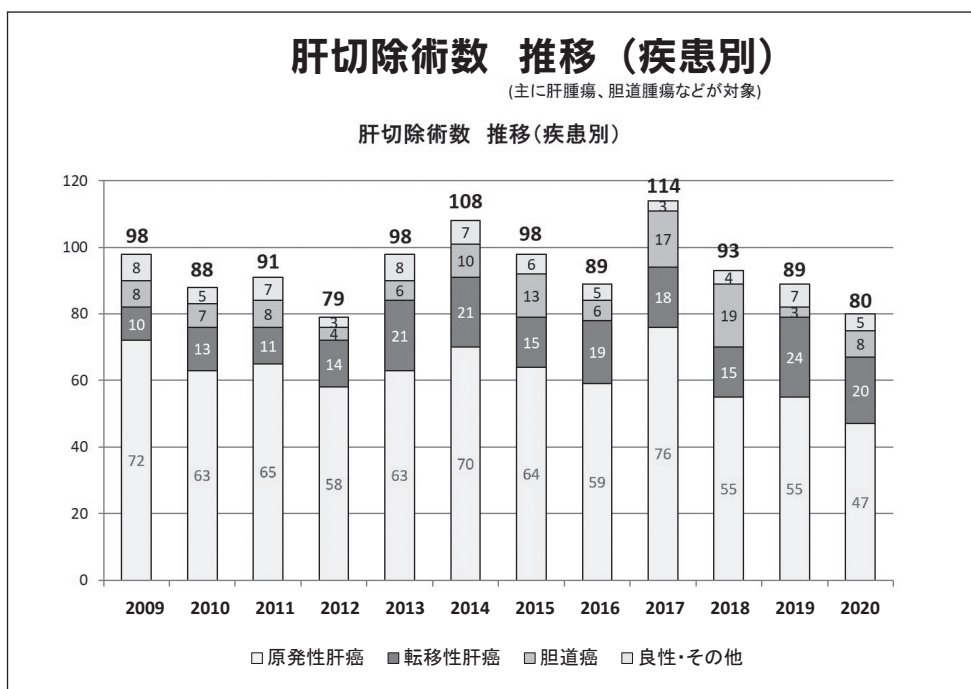


21. 肝胆膵外科

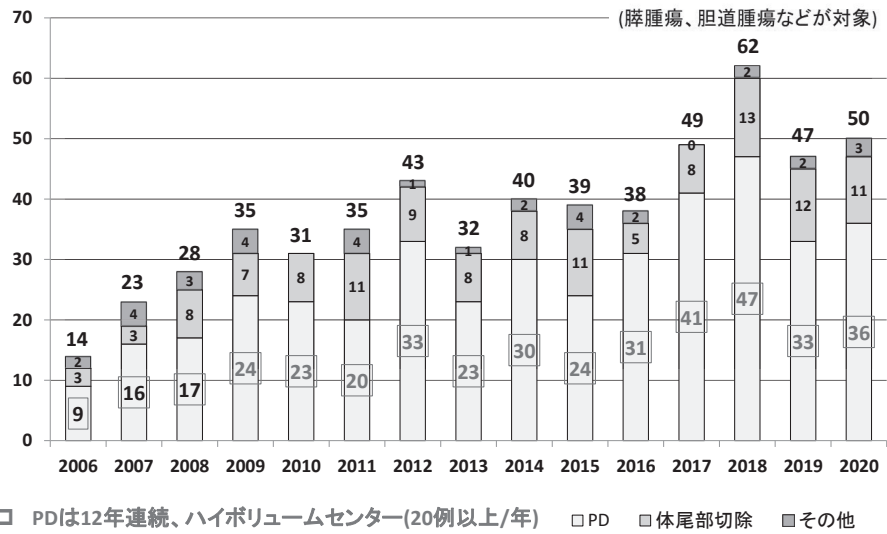
肝胆膵外科部長 萱島寛人

2020年は例年とは異なり、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年でした。肝胆膵外科では、肝切除術件数は80例と2019年と比べて9例減少しました。特に肝臓がんに対する肝切除術件数は例年より12例減少しており、新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響でなければと危惧しています。膵切除術件数は50例と2019年と比較して3例増加しました。膵臓がんに対する膵切除術件数は、2019年は術前化学療法を行う症例が増えたことから2018年の42例から32例と減少しましたが、化学療法後の症例が2020年に手術が行われたことより35例まで増加しています。

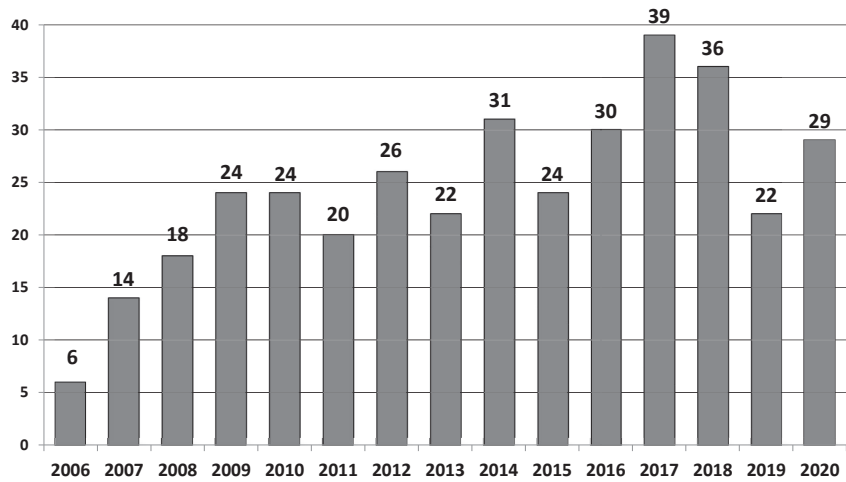
肝胆膵外科全体の手術症例数は例年よりやや減少しましたが、NCDのフィードバック機能を利用した肝胆膵外科の術後合併症発生率は全国の予測発生率よりも常に良い結果を維持しており、診療の質は維持し続けています。



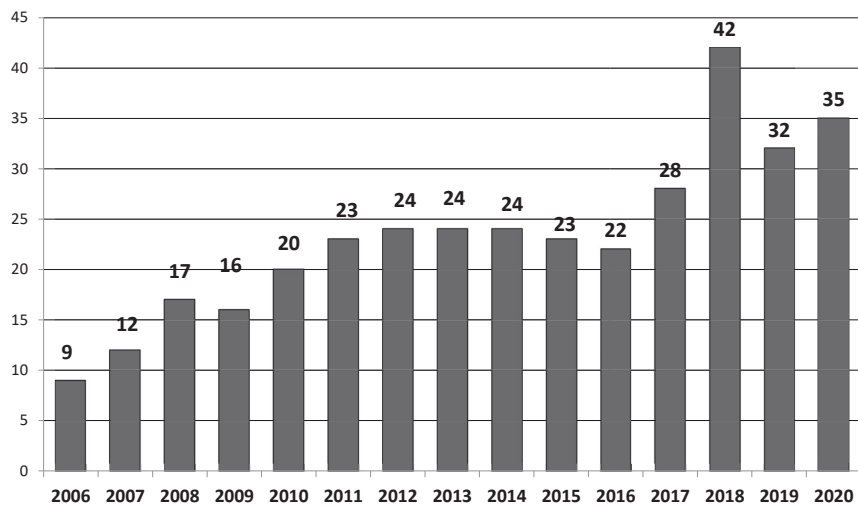
飯塚病院外科 膵切除症例数 推移 (術式別)



胆道腫瘍切除術数 推移



膵がん切除症例数 推移



* 膵がん: 通常型膵癌、IPMN等の悪性腫瘍
* バイパス手術等の姑息的手術は除く